横浜YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.478 2018

YMCANews 2

2018年2月1日発行
（毎月1日・1回発行）
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行／公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721

横浜青年

子どもの未病対策を応援

楽しく運動習慣を身につけましょう

神奈川県の政策の一つに掲げられている健康長寿の促進として「未病改善」の取り組みが行われています。横浜YMCAでは、成人から高齢者への取り組みとして、健康教育や専門学校、高齢者事業などが協働して運動による認知症予防のコグニサイズや高齢者が健康で安心して住み続けられるための「健康団地」の取り組みに指導者を派遣しています。

一方、小学生から高校生の10人に4人が生活習慣病の予備軍であるといわれています。原因は、動物性脂肪の取りすぎや不規則な食事、運動不足、家庭や学校でのストレスなどが考えられています。食事・運動・睡眠の正しい習慣を身につけていく未病改善の取り組みは、子どもの頃からの正しい生活習慣を確立することが重要で、成人や高齢者だけでなく、子どもや保護者も身近な場所で楽しみながら、未病改善に取り組んでくことが大切といわれています。

ロコモティブシンドローム（以下ロコモ）は、運動器症候群と言われ、従来中年期や高齢期における運動不足などの生活習慣からくる運動器関連のさまざまな疾患の総称です。具体的には腰痛、膝痛や肩関節の硬直化、筋力の低下などですが、最近では、成長期の幼児、児童においても運動器におけるさまざまな課題が指摘されるようになってきています。例えば、足首が固くしゃがむことができず尻もちをついてしまう、つまずいて転んだ際に手が前に出ないで顔面を直接床に強打してしまう、体幹が弱く授業中同じ姿勢が維持できないなどがあげられます。本来、中高年期から長年の運動不足による生活や過体重により生じてくるロコモの課題が、幼少期からの子どもの課題となってきています。子どもたちには、「質」と「量」二つの要素をバランス良く取り入れた運動経験が必要となります。昔は、そのような動きを子どもたちは日常の「遊び」の中から自然に経験を積んでいきました。多様な動きを取り入れるという視点では、水泳教室ではクロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライなどリズムや動きのメカニズムの違う泳法を習得することもその一つです。器械体操ではマット運動、鉄棒、跳び箱、平均台といった複数の種目を経験することにより多様な動きを体得していきます。

▲横浜YMCAの保育園 運動会（本文とは関係ありません）

2月11日（日）にキックオフイベントとして行われる神奈川県の「子どもの未病対策応援プログラム」は、子どもや保護者が身近な場所で楽しみながら未病改善に取り組めるよう、地域にある企業や団体等が提供できるプログラムを行います。以降、県内の幼稚園や保育園などにて希望するプログラムを実施します。今回のイベントで横浜YMCAは「エンジョイ！フットサル」を実施します（詳細は左）。

横浜YMCAでは、子どもたちが楽しく運動習慣を身につけ、地域や社会に貢献できる育ちを応援していきます。

子どもの運動にかかる指導者研修 キッズコーディネーション

横浜YMCAでは、神奈川県内在勤の幼稚園教諭や保育士などを対象に「子どもの運動にかかる指導者研修」（神奈川県主催）を2月から3月に藤沢YMCAや川崎市生涯学習プラザにおいて開催します。リズムやバランス、反応などの能力を活用し、さまざまな状況や五感で察知したことを判断して筋肉を動かすといった一連の動作をスムーズにすることを目的としたYMCAキッズコーディネーションの指導法を学びます。詳細は横浜中央YMCAウエルネススポーツクラブへ。

子どもの未病対策応援プログラム 2／11（月）エンジョイフットサル

神奈川県が取り組んでいる「子どもの未病対策応援プログラム」のキックオフイベントが2月11日（日）午前11時から午後3時に横浜保育福祉専門学校（JR横須賀線東戸塚駅下車・徒歩3分）において開催されます。横浜YMCAでは、キッズコーディネーションを取り入れたフットサルを行います。ボールをけるだけでなく足の裏やつま先を使った、サッカーとは少し異なった動きを学びながら技術を習得するほか、試合などが行われます。

ホドス

元旦の執筆を日記から始める人は少なくなった。日記よりも手帳が優勢らしい。反面、明治人の日記は今でも読まれている。原敬の日記は明治大正時代史に欠かせられなく、永井荷風の日記は文人だけでなく歴史家にも尊重された。特に戦時下の記述は貴重である▼空襲下、めし炊きをしながらフランス語聖書を読む記述は印象深い。軍部の権力による言論や信教への弾圧は、個人の日常生活もゆがめた。日記を書くことすら注意しなければならない検閲の時代であった▼戦前活躍したジャーナリストの日記の公表は、敗戦後しばらく待たねばならなかった。戦時中、時勢批判を書き続けることは、かなりの見通しと勇気を必要とした▼戦後、神学生だった筆者の愛読書に清沢冽の『暗黒日記』がある。敗戦後、二度も出版されて読書界に注目された個人日記には、政界や軍部のうその報道を指摘する箇所が多かった。敗戦後、日記は高く評価された▼信州穂高で生まれ育ち、渡米、苦学して成長した清沢は、帰国して外交評論家や記者として活躍した。日米対比を介し、非戦を訴え、日記で敗戦を暗示した。清沢は敗戦3カ月前に死去し、戦後追悼会が開かれた。専門書よりも日記が注目されて同業の言論人石橋湛山の配慮により、出版された。言論が自由になった時代に「暗黒」と銘うった日記が出されたことは意義深い。清沢の「長いものに巻かれない」気概は、戦後の平和時代になっても一読者の座標軸となっている。（愛）

横浜中央YMCA／横浜北YMCA／藤沢YMCA／横須賀YMCA／川崎YMCA／厚木YMCA／YMCA ACT／鎌倉YMCA／YMCA山手台センター／湘南とつかYMCA／金沢八景YMCA／YMCA東とつかセンター／大和YMCAライフサポートセンター／横浜YMCAワークサポートセンター／YMCAあつぎ保育園ホサナ／YMCA山手台保育園アルク／YMCAとつか保育園／YMCAマナ保育園／YMCAとつか乳児保育園／YMCAつるみ保育園／YMCAかわさき保育園／YMCAいずみ保育園／YMCA東とつか保育園／YMCA東かながわ保育園／YMCAたかつ保育園／金沢八景YMCA保育園／YMCAオベリン保育園／富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ／鶴見中央YMCA／YMCAライフサポートセンター鶴見／YMCAライフサポートセンター関内

YMCA NETWORK NEWS

とつか アクア100記念100本泳ぐ

日本で初めて東京YMCAに室内プールが建設されてから100年を迎えた。湘南とつかYMCAでは、1月6日にアクアティック100周年記念「チャリティー100本泳」を開催し、小学3年生から78歳までの約60人が初泳ぎを行った。

25mプールで、それぞれの泳力に合わせて、個人で50mを100本、25mを100本、3名から7名のチームで50m・25mを100本泳ぐなど、さまざまな参加の仕方がみられた。順番や交代の仕方をあらかじめ決めて100本泳にチャレンジし全員が完泳した。

参加したユースリーダーの大島宏美さんは、「みんなで泳ぐ体験が新鮮でした。100本泳ぎ終わった後の達成感が忘れられない思い出となりました」と感想を語った。この日の参加費の一部2万6千円は、国際・地域協力募金として用いられる。

いじめのない社会目指す ピンクシャツデー各地で展開

いじめと向き合う講演会や学習会も実施

2017年度に全国の学校が認知したいじめは32万3808件（文部科学省速報値）で過去最多であった。いじめから子どもを守るため学校や行政の責務を定めた「いじめ防止対策推進法」（いじめ防止法）の施行（2013年9月）から4年以上が経過したが、いじめによる被害や悲劇は後を絶たない。

そういった中、いじめのない社会を目指し、いじめの傍観者をなくしていこうと横浜YMCAでは、昨年に引き続き、2月に世界的ないじめをなくす運動「ピンクシャツデー」に全国のYMCAとともに取り組む。

「ピンクシャツデー」は、カナダの学生2人からはじまったいじめ反対運動。ピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられ、それを聞いた2人の学生が、翌日にみんなでピンクのシャツを着て登校しようと呼びかけた。翌日賛同した数百人の生徒がピンクのシャツや小物を身につけて登校し、いじめが自然となくなったというもの。そのエピソードが世界中に広まり、現在では、70カ国以上の国でいじめに反対する活動が行われている。カナダで最初にこの出来事があった2月第4水曜日をピンクシャツデーとしている。

▲体操クラスなどの子どもたちもピンクシャツデーに取り組んだ（横浜北YMCA/2017年2月）

横浜YMCAでは、今年も2月28日（水）にピンクのシャツや小物を身につけて写真やメッセージをホームページに紹介し、思いを世界中に伝えようと呼びかけている。（写真はjpgデータをec_info@yokohamaymca.orgへ）

2月18日（日）午後2時から4時には、湘南とつかYMCAにおいて「『イイ子』より『幸せな子』を育むために」をテーマに、北村年子氏（ノンフィクションライター・自己尊重トレーニング・トレーナー）を迎え、不完全な自分を許し、尊重しあって生きるためのヒントを学ぶ。参加費無料。（詳細は4面）。

このほか、各YMCAでは、いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が傍観者にならないような学習会などを行う。また、神奈川県や横浜市、地域の企業や団体などが協働して「ピンクシャツデー2018 in 神奈川」のイベントを2月28日午後1時から新都市プラザ（横浜駅東口）にて開催する。ミニ朗読劇「ハッピーバースデー」や展示などを行う予定。

134 YEARS OF HISTORY　子どもの発達課題に寄りそう教育相談センター

2013年10月、子どもの発達を共に考えていこうと教育相談センターを横浜北YMCA内に開設しました。教育相談センターでは、「集団行動ができにくい」「動きが多く落ち着かない」「こだわりが強い」「友だちとのトラブルが多い」といった発達で気になることがある場合には、その子どもの特性を見つけ、早期から一人ひとりの個性に寄りそった支援に取り組んでいます。

横浜YMCAでは1994年に、学習障がい児のための水泳教室を開講し、1995年に学習や友だちとの関わりなどにつまずきのある子どもたちの発達をサポートしようと、横須賀YMCAにてクラスを開始し、その後、横浜北、藤沢、湘南とつかにて開講しています。YMCAオリジナル教材を使った学習やソーシャルスキルトレーニング、友だちとの関わり方や社会のルールやマナーの学び、身体づくりや学校体育種目にチャレンジするバランスアップクラスなどを行っています。

▲子どもの発達や人とのかかわりについて気になる点を気軽に相談できる相談センター（2017年）

今月の「平和の川柳」

平和だな
新聞広げ
爪を切る

荘子隆さん　（一般）

第3回チャリティーゴルフ 3月12日（月）に開催

▲100人を超える参加者が集った昨年のチャリティーゴルフ

経済的な理由により横浜YMCAで行うさまざまなプログラムに参加することができない子どもたちの支援のために、横浜YMCAでは「子ども支援（BAPY＝Be A Partner of the Youth）基金による支援を行っている。

3月12日（月）には、戸塚カントリー倶楽部（横浜市）東・西コースにて「第3回子ども支援基金のためのチャリティーゴルフ」（山田尚典大会委員長）が開催される。昨年は、YMCA会員、賛助会、維持会員、ワイズメンズクラブ、関係企業・団体などから109人が参加し78万円を超える基金が寄せられた。

大会準備にあたり、実行委員会（吉原訓大会実行委員長）では、参加者の呼びかけを行っている。また、協賛団体や賞品の提供などの協力を呼びかけている。

横浜YMCAでは、地域の企業や参加者とともに、子どもたちの置かれている状況の理解が深まり、子どもたちの豊かな希望ある将来につなげていくことを目指す。

大会の詳細や申込みは大会事務局へ（お一人での申し込みも可能）。

♫子育てランド♪ 生活リズムを整えて

私たちの睡眠には、「メラトニン」というホルモンが、重要な役割を果たしています。このホルモンは、暗くなると脳から分泌され、眠気を誘うだけでなく、全身の細胞に働きかけて「夜が来たよ」ということを教えるホルモンです。

夜に明るい光（特にブルーライト）をいつまでも浴びていると、メラトニンが出なくなります。テレビや携帯電話、パソコン、タブレットの光にはブルーライトがたくさん入っていて、睡眠リズムを狂わせる原因になります。なるべく早い時間に使い終わりましょう。

メラトニンは自律神経系の発達にも重要です。1歳から5歳の間に一生で一番多く分泌され、そのピークは2歳から3歳です。この時期に十分なメラトニン分泌が行われるような生活習慣を身につけることが重要です。

夜に眠り、朝に起きて、日中は、しっかり活動するという生活リズムは、保育園や学校生活に適応するためだけでなく、脳や体の発達のためにも必要なのです。

（YMCAつるみ保育園
看護師　綾部　美佐子）

富士山 富士山Yで新年を共に

東日本大震災復興支援キャンプ「ニューイヤーファミリーキャンプ」は、1月2日から4日に神奈川県内に避難している6家族18人を東日本復興支援募金により富士山YMCAに招待した。2013年から実施しているこのキャンプには、これまでに総計338人が富士山YMCAの豊かな大自然の中で新年を迎えている。ここ数年は、互いの再会を楽しみにリピーターとして参加するケースも多い。

今年も大凧あげやマウンテンバイク、クラフト、おやつ作り、もちつき、キャンドルファイアーなどを家族で楽しんだ。横浜YMCAでは、今後も支援を続けていく。

こもれび

いじめと向き合う

総主事　田口　努

詩人の谷川さんと子どもたちが詩を通じて、いじめを見つめた「いじめっこいじめられっこ」（童心社）という3詩集の巻頭詩「おとなしい巨人」と、多くの子どもたちの詩の心の内を詩にしていく活動をはじめ、谷川さんや教育関係者も賛同して「いじめさよなら会議」ができた。

心の思いを詩にしようと呼びかけ、次の詩集を出していく運動になっている。子どもの詩には、いじめられている子、いじめている子、傍観する子などの心の声がつまっている。ある子どもの詩には「ブツブツ ボソボソ クスクス かげで言ったり言われたり 心の中にいる もう一人の自分がこわい」とある。

2月の「いじめをなくそうピンクシャツデー」では、いじめを生み出す心と向き合い、いじめを自分事として捉え、いじめを傍観しない勇気と共感の輪を広げていきたい。

ぼくはおとなしい巨人に
なりたい
あいつが来たら突っ立って
あいつの前にただ突っ立って
黙って山を眺めてやる
カラダはチビで弱くても
ココロは大きく強くなれる
ココロの巨人の相手は自分
自分に負けない巨人に
なりたい

わかってる？
あんたのなかに
あたしがいるって
あたしにくちをきかないのは
あたしをみないで
そっぽむくのは
あたしをごみみたいに
おもっているのは
あんたのなかに
あたしがいるから…

（作詞　谷川俊太郎）

平和を共に学び、私たちのできることを考える

子どもから大人までどなたでも参加できる会員大会

横浜YMCAでは、新しい維持会員（Yサポーター）を歓迎し親睦と交流、学びの機会として、2月12日（月・振休）に第4回目となる「横浜YMCA会員大会」を湘南とつかYMCAにて開催する。

「ONE WORLD ONE LOVE ONE HEART みつかる。つながる。よくなっていく。」をテーマにオープニングセレモニーでは、ドラムサークルファシリテーターの飯田和子さんを招いて参加者が輪になり打楽器やパーカッションなどを使ったドラムサークルを行う。

平和のメッセージでは、子どもたちやユースが、曲芸師・芸術家の天野耕太さん、約80年にわたりYMCAの会員であり指導者の阿部志郎さん（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）から平和への思いが語られる。

午前11時から午後1時には、子どもたちに平和を身近に感じてもらおうと、健康育部や語学、アフタースクールなど7事業によるクイズや体験会などが開催される。保育事業では、平和の絵本やカロムゲームのコーナー、高齢者事業では「認知症ってなぁに？」、留学生による自国の紹介が予定されている。また、天野さんによる「平和」とつながるバランスパフォーマンスが行われる。

会員大会は、どなたでも参加できる。入場無料、予約不要、出入り自由。

▲難民としてのチャンさんの経験から平和を考えた昨年の会員大会

よこはまグッドバランス賞・横浜健康経営認証受賞

働く人の健康と働きやすい職場づくりを進める

公益財団法人横浜YMCAおよび社会福祉法人横浜YMCA福祉会は、横浜市が行っている「横浜健康経営認証2018事業所」クラスAに認定され、1月18日に認証式が行われた。横浜市では、従業員等の健康保持・増進の取り組みが将来的に企業の収益性などを高める投資であると捉え、従業員などの健康づくりを経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」の概念を広く普及させようと健康経営に取り組む事業所を「横浜健康経営認証事業所」として認証している。また、市内事業所において積極的な女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの推進を図るために、女性も男性も働きやすい職場づくりを進める中小事業所を、「よこはまグッドバランス賞」（横浜市）と認定し、その取り組みを広く紹介している。2017年度の認定事業書が発表され、公益財団法人横浜YMCA（新規）、社会福祉法人横浜YMCA福祉会（2回目）が認定された。表彰式は、1月25日に情報文化センターにて行われた。

▲横浜市長公舎にて行われた横浜健康経営認証式

今年も3・11をわすれない

東日本大震災から間もなく7年を迎えるが、横浜YMCAでは今年も「3・11をわすれない」をテーマにさまざまな取り組みを行う。（一部掲載）

■3月4日(日)午後3時半～。チャリティーイベントコンサート。前売り券1千2百円。湘南とつかYMCA。

■3月9日(金)午後6時半～。講演会「被災地で出会った人びとの今」『つなみ 被災地の子ども80人の作文集』（文藝春秋）の取材を行っている森健氏（ジャーナリスト）が被災地の今を語る。無料。横浜中央YMCA。（国際・地域事業）

■3月10日(土)午後3時～。上映会「種まきうさぎフクシマに向き合う青春」参加費1千5百円。中高生1千円。小学生以下5百円。YMCA ACT。

■3月11日(日)午前10時～午後2時。舞岡さんま祭り。横浜市舞岡地区センター。

障がい児・者の支援を公募

昨年10月に開催された第20回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランの募金による障がい児支援プログラムの支援金公募受付が2月1日（木）から始まった。所定の申請用紙に記入の上、2月28日（水）までに横浜YMCAチャリティーラン事務局まで提出する。審査結果は2018年の実行委員会を経て6月下旬に発表される。問い合わせは☎045（662）3721。

FLASH NEWS

第7回日中韓YMCA平和フォーラムが12月16日から20日に韓国・光州にて行われ、横浜YMCAから常議員、運営委員、スタッフ10人が参加した。中国、韓国、日本のYMCAが2年ごとに開催地を持ち回り、開催されているもので、過去の歴史に思いを馳せ、東北アジアの平和構築のための学びや意見交換が行われた。5.18国立墓地や資料館の訪問、平和に関する話し合いなどが行われ、ユース参加者から共同宣言文の提案がなされ承認された。

神奈川県内の生活困窮者や社会的弱者を支えるネットワークにより、格差や貧困、分断や孤立から、つながりや相互扶助をつくりだすフードバンクの中間組織「一般社団法人フードバンクかながわ」の設立準備が進められている。ポジティブネットのある社会の構築につながるものとして横浜YMCAも設立団体として参画している。3月11日（日）午後1時から3時に設立記念フォーラムが、はまぎんホール（横浜市西区）で開催される予定。

ワイズコーナー　地域の方とともに

横浜つづきワイズ&ウィメンズクラブ

今年で創立12年の若いクラブですが、大切にしているプログラムの一つに、バリアフリーのクラシックコンサート「You＆Iコンサート」があります。創立5周年を記念して始めたこのコンサートも、地域の障がい者支援団体、横浜北YMCAなどとの協働、さらには、行政、社協、YMCAの後援や支援をいただき、今秋には第8回目を開催することになりました。「横浜室内合奏団」の演奏は素晴らしくて楽しく、音楽を聞いて体全体で喜びを表す聴衆の方々を見るたびに、このプログラムの素晴らしさ、やってきてよかったとの思いを実感します。今年は9月29日(土)に開催します。ぜひお越しください。

（横浜つづきワイズ&ウィメンズクラブ会長　今城宏子）

横浜中央ＹＭＣＡ	☎045(662)3721
横　浜　北ＹＭＣＡ	☎045(433)4321
藤　沢ＹＭＣＡ	☎0466(26)1150
横　須　賀ＹＭＣＡ	☎046(834)5811
川　崎ＹＭＣＡ	☎044(932)2031
厚　木ＹＭＣＡ	☎046(223)1441
ＹＭＣＡ　ＡＣＴ	☎045(316)1881
鎌　倉ＹＭＣＡ	☎0467(24)7859
ＹＭＣＡ山手台センター	☎045(813)1022
湘南とつかＹＭＣＡ	☎045(864)4768
金沢八景ＹＭＣＡ	☎045(782)3003
ＹＭＣＡ東とつかセンター	☎045(392)3747
大和ライフサポートセンター	☎046(264)3192
ワークサポートセンター	☎045(867)0090
ＹＭＣＡあつぎ保育園ホサナ	☎046(222)8619
ＹＭＣＡ山手台保育園アルク	☎045(813)1022

I・N・F・O・R・M・A・T・I・O・N

YMCAの最新情報は
ホームページをご覧ください
http://www.yokohamaymca.org

ＹＭＣＡとつか保育園	☎045(870)3663
ＹＭＣＡマナ保育園	☎045(790)3588
ＹＭＣＡとつか乳児保育園	☎045(870)3235
ＹＭＣＡつるみ保育園	☎045(500)5030
ＹＭＣＡかわさき保育園	☎044(520)1825
ＹＭＣＡいずみ保育園	☎045(800)3010
ＹＭＣＡ東とつか保育園	☎045(820)5588
ＹＭＣＡ東かながわ保育園	☎045(440)3763
ＹＭＣＡたかつ保育園	☎044(281)7833
金沢八景ＹＭＣＡ保育園	☎045(353)5130
ＹＭＣＡオベリン保育園	☎042(707)9974
富　士　山ＹＭＣＡ	☎0544(54)1151
鶴見中央ＹＭＣＡ	☎045(508)7800
ＹＭＣＡライフサポートセンター鶴見	☎045(506)0131
ＹＭＣＡライフサポートセンター関内	☎045(680)6680
本　部　事　務　局	☎045(662)3721

レクチャー

■イングリッシュセミナー
日　時　2月16日（金）午前10時～正午
会　場　鎌倉YMCA　201教室
テーマ　「"Awareness and Assimilation: The Changing Face of Japan"」
講　師　Matthew Karaschさん
参加費　会員1,100円、一般1,400円
申込み　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859

■ピンクシャツデー講演会
日　時　2月18日（日）午後2時～4時
会　場　湘南とつかYMCA　ホール
テーマ　『イイ子』より『幸せな子ども』を育むために
講　師　北村　年子さん（ノンフィクションライター・自己尊重トレーニング・トレーナー）
参加費　無料
問合せ　湘南とつかYMCA☎045(864)4768

■3.11をわすれない…つながる講演会　被災地で出会った人びとの今
日　時　3月9日（金）
午後6時30分～8時30分
会　場　横浜中央YMCA
内　容　東日本大震災の被災地で暮らす人びとの今について学びます。
講　師　森　健さん（ジャーナリスト）
参加費　無料
申込み　横浜YMCA国際・地域事業
kokusai@yokohamaymca.org

キリスト教理解

■バイブルカフェ
日　時　2月21日（水）
午後6時30分～7時30分
会　場　川崎YMCA21教室
講　師　青木　靖氏（登戸エクレシアキリスト教会牧師）
テーマ　「マルコによる福音書を読む」
参加費　無料
問合せ　川崎YMCA☎044(932)2031

■聖書を読んでみよう会
日　時　2月20日（火）午後6時30分～8時
会　場　横浜中央YMCA 6階教室
テーマ　「ヨハネによる福音書を読む」
参加費　無料
問合せ　横浜中央YMCA☎045(307)7556

■聖書に聞く「創世記が語りかけるもの」
日　時　2月16日（金）午前11時～正午
会　場　横須賀YMCA
テーマ　「ヨセフ物語Ⅰ」
参加費　無料
問合せ　横須賀YMCA☎046(834)5811

イベント

■子どもの未病対策応援プログラム
日　時　2月11日（日）午前11時～午後3時
会　場　横浜保育福祉専門学校
内　容　子どもの健康づくりを応援するためのキックオフイベントを開催します。
参加費　無料
協　力　横浜YMCA
問合せ　神奈川県健康増進課未病対策グループ☎045(210)4746

■楽しいコンサート～歌・ソプラノ編～＆「仙台すずめ踊り」
日　時　3月10日（土）午後1時～3時30分
会　場　横浜市踊場地区センター
内　容　東日本大震災復興支援のためのコンサート、仙台まつり宝山による「すずめ踊り」、宮古物産展ほか
参加費　1,000円（コンサートのみ）
問合せ　踊場地区センター☎045(866)0100

■東本郷地域ケアプラザ祭り
日　時　3月11日（日）午前11時～午後2時
会　場　東本郷地域ケアプラザ
内　容　東日本大震災復興支援マーケット、そば打ち体験、手作り品販売ほか
問合せ　東本郷地域ケアプラザ
☎045(471)0661

カルチャー

＜なつかしい童謡や唱歌を歌います＞

■北YMCA　うたごえひろば
日　時　2月13日（火）
午後12時40分～2時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　北YMCA 3階スタジオ
参加費　300円
申込み　北YMCA☎045(433)4321

■湘南とつかYMCA　うたごえひろば
日　時　2月20日（火）午後2時～4時
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　湘南とつかYMCA 1階ホール
参加費　300円
申込み　湘南とつかYMCA☎045(864)4768

■厚木YMCA　うたごえひろば
日　時　2月27日（火）午後2時～3時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　厚木YMCA
参加費　500円
申込み　厚木YMCA☎046(222)8619

■生麦地域ケアプラザ　うたごえひろば
日　時　2月21日（水）
午後1時30分～3時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　生麦地域ケアプラザ（横浜YMCA運営委託）2階多目的ホール
参加費　100円
申込み　生麦地域ケアプラザ☎045(510)3411

子育て支援

■横浜子育てサポートシステム入会説明会
日　時　2月14日（水）、24日（土）
午前10時30分～11時30分
会　場　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
対　象　横浜市子育てサポートシステムに入会を考えている方
問合せ　横浜市子育てサポートシステム中区支部事務局☎045(663)0676
○システム利用のための説明会を行います。

学校説明会

■横浜YMCA学院専門学校作業療法科
日　時　2月24日（土）午前10時～正午
内　容　学校説明会
申込み　☎045(641)5785

■YMCA健康福祉専門学校
日　時　2月10日（土）、24日（土）午前9時30分～12時30分、*午後2時～5時
内　容　学校説明会 *個別相談会
申込み　☎046(223)1441

■横浜YMCAスポーツ専門学校
日　時　2月24日（土）
午前9時30分～12時30分
内　容　学校体験（YMCA保育園体験）
申込み　☎045(864)4990

■高等学院
日　時　2月17日（土）午前10時～11時30分
内　容　学校説明会、個別相談
申込み　☎0466(26)1150
※各校とも入試が始まっています。詳細は電話またはHPにて各校へお問い合わせください。

ボランティア情報

■子育て応援ボランティア説明会
日　時　2月13日（火）午後2時～3時
会　場　のんびりんこ研修室
問合せ　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ☎045(663)9715
○地域での子育てをお手伝いいただける方を募集しています。

2018年春季・年間クラス受付中 お問い合わせ、お申込みは各YMCAへ

My Story 97 『つながり』の中心となる場所YMCA

川崎YMCA運営委員長
登戸エクレシアキリスト教会牧師
青木　靖

私が運営委員としてYMCAに関わるようになって10年以上が経ちました。ジムを借りて教会の日曜学校を行っていた関係から声をかけていただき、クリスマス会でメッセージ、YMCA祭（現チャリティーフェスタ）で海賊になり、バイブルカフェやYMCAたかつ保育園での礼拝、専門学校のキリスト教の授業などイエス・キリストの話をさせてもらう多くの機会をいただいています。

新しいチャレンジが『みつかる』きっかけとなったのはYMCAの研修で行った韓国・光州（クァンジュ）での体験でした。韓国では超学歴社会の弊害でストレスを抱える子どもや若者が多く、その支援のためのさまざまな福祉的な活動をYMCAが国からの委託で行っていました。

川崎YMCAでも、小学校での「寺子屋事業（放課後学習支援）」や大学生が中学生に勉強を教える「学習サポート事業」などが開始される中、教会としてキリスト者として、子どもたちのため、地域のニーズにもっと答えていきたいと考えていた私は、教会のメンバーの助けも借りて、2016年11月から毎週の「登戸こども食堂海賊キッチン」をスタートさせました。全国的な「子ども食堂ブーム」の中「子どもの貧困」という言葉が一人歩きしている感がありますが、実際に関わってみて感じたのは「経済的、物質的な貧困」というよりも「交わり、つながりの貧困」でした。両親が共働きの小学生も、父親の帰りが遅く二人きりの食事が寂しい親子も、幼児二人を抱えてひと時も気が休まらないお母さんも、ワイワイガヤガヤ集まって「みんなで一緒にご飯を食べる」ただそれだけで楽しい。そんな場所です。現在は平均30～40人が食事をし、大人たちがごく自然に、子どもたちとゲームをし、中学生に勉強を教えています。寺子屋で知り合った小学生たちが子ども食堂でも顔なじみとなり、学習サポート事業の方も毎月食事を作りに行くなど、『つながり』は広がっています。『みつかる。つながる。よくなっていく。』YMCAは常にその中心でありたいと思います。

▲子どもに人気の登戸海賊団（チャリティーフェスタ/2列目左から3人目）

▶デスクペン　2月を通してYMCAでは「ピンクシャツデー」の取り組みを行います。ピンクのシャツや小物を身につけ、いじめ反対のメッセージ(テキストファイル)や写真(jpgデータ)をec_info@yokohamaymca.orgまでお寄せください。(直)